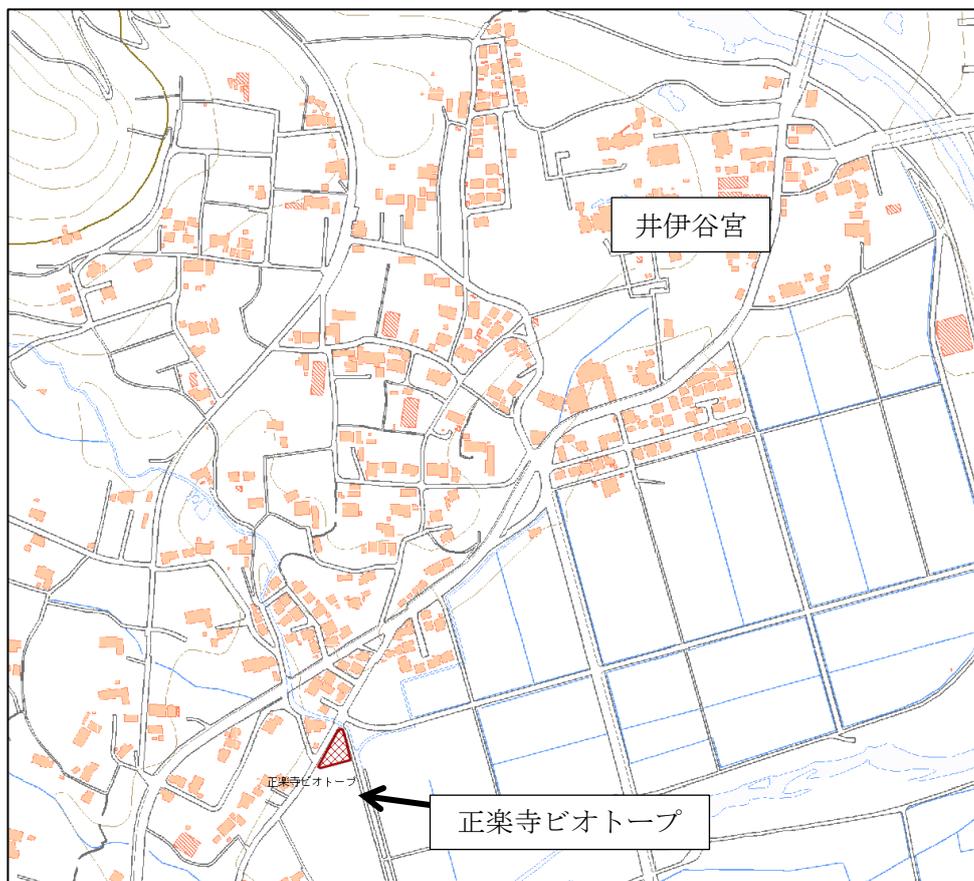


井伊谷小学校児童によるヤリタナゴ(静岡県指定希少野生動植物)の放流について【別紙】



正楽寺ビオトープ位置図



ヤリタナゴ

産卵期には、メスは産卵管を数センチにも伸ばし、マツカサガイの水管の中に卵を産み付けます。孵化した仔魚は1カ月ほど母貝の中で成長し、その後水中に出ていきます。



マツカサガイ

孵化後、グロキディウム幼生となり、魚類のヒレや体表について成長します。時期になると河床に落ちて、稚貝となります。今回のビオトープでは、メダカやドジョウを宿主として放流しています。